

第1回 四国における港湾を活用した農林水産物輸出促進検討会（H30. 2. 26）
意見まとめ

【第1部】

特別講演 ～北海道における農水産品輸出戦略について～

＜（一社）北海道国際流通機構（HIDO） 鳥取義之 代表理事＞

- 農林水産品の輸出促進のためには、物流及び商流を併せて検討することが重要。
- 道内事業者が輸出に取り組む必要性を理解しつつも、輸出に踏み込めない理由は大きく3つ。①海外での高い営業コスト、②海外の代金回収リスク、③複雑な輸出手続き。
- 平成29年4月にHIDOを設立させ、北海道人の想いを次世代に「つなぎ」、北海道と海外を「つなぐ」こと経営理念に、上記の課題に対応したサービスを展開。
- HIDOのサービスは①海外営業担当企業の経営参加（出資）により国内会員の営業リスクの低減、②入金後の発送（前払い制）、③輸出手続きの代行。
- 我々のノウハウと行政のネットワークをかけることで、豊かな北海道を早く実現できると考えており北海道開発局と連携協定を結んでいる。

【第2部】

1. 開会挨拶（高知県尾崎知事）

- 高知県にとって地産外商は非常に重要で、これまで国内市場に対して県産品を売り出す取組を進めてきた。今後は更に輸出を量的・質的に拡大したい。
- 県産品の輸出促進に最大効果をもたらすように、最大効率でモノを運ぶために、必要なインフラ整備や商流を含むソフト面の取組を検討していくことが重要。
- 港湾整備も大変重要で、的確な整備によりクルーズ船が急増し、9万人の外国人観光客の窓口となった。的確なインフラ整備は確実に新しい道を切り開く。
- ソフト面の強化と高知港のあり方検討により輸出強化につなげていきたい。

2. 議事

＜委員からの主な意見＞

- 卸売市場法が改正されており、東京の市場を経由する取引であっても、物流は高知港を使うといった、商流と物流を分離することも可能ではないか。
- 商物分離により市場で取引される品物について、高知港からの輸出を実現するにあたって、相手国の検疫等の条件、品物の貯蔵性、輸出の時期、期間を整理する必要があるのではないか。
- 高知県では、「次世代型こうち新施設園芸システム」という技術を導入して、生産性の向上に努めている。また、IoT・AI技術を使って生産性の向上に努めるとともに、川上から川下までの一定のデータ収集及びその活用方法を検討し、今回の輸出の取り組みと連携したい。
- 相手国までのコールドチェーン、鮮度保持といった物流面の課題もあるが、

相手国のニーズを把握し、それを売り込むための商流面の検討も必要ではないか。

<講師・鳥取代表理事の意見>

- 農産品の輸出にあたっては、相手国の求める検疫や原産地証明の他、状況によって各国のFDA（食品衛生を司る機関）が求める書類があるため、相手国が求める条件を細かく聞いていくコミュニケーション技術が必要。
- 農産物を輸出しようという気運を高めるためには、輸出による障害を解決する道筋や、成功に至るまでの実績などの説明等を通して、「自分たちでも輸出できるのではないか」という理解を持たせることが大事である。
- 北海道における商流の課題については、いかに「売る」かよりも、いかに「買ってくれる人」を取り込めるかによって、解決できるのではないか。
- 高知港からの輸出促進におけるアドバイスとしては、仲間をたくさん作ること。当機構は、毎週末に輸送実績や売買実績、活動内容等を送信しており、情報発信を通じて、多くの企業の方々に参画して頂いている。

<尾崎高知県知事の意見>

- 輸出振興のために何をすべきか考え、その手段として港湾をどう活用するか検討するのが本来のアプローチであるが、今回、「港湾を活用した」点を前面に出して頂き大変ありがたい。本検討を通じて、コールドチェーンの構築やそのためのインフラ整備、定期航路の拡大に向けた効果的なポートセールスに繋がると考えている。
- 高知県でも、ゆず青果を航空便で欧州に輸出し、年間11.8億年程度の売上を確保しているほか、水産物は来年HACCP対応の水産加工場が完成する予定で、そこから輸出拡大に向け取り組んでいる。
- 次回は高知県側から輸出振興のプレゼンを行い、高知港をこうすればボトルネックを一層解消でき、市場の開拓にも広がるのではないか等の議論に展開できれば思っている。
- 海外デパートで北海道フェアは大変人気で多くの店で実施されている。北海道と高知県の商品に重複が少ないこともあり、今後、北海道フェアとタイアップさせて頂くことがあれば、非常にありがたい。

<楠瀬須崎市長の意見>

- 須崎市としては、木材を須崎港から輸出したいと考えており、検討を進めている。船のチャーター代が上昇傾向で保留状態であるが、早い時期に実現したい。まずは原木、その後、スギの製材を輸出すべく検討している。
- 3月1日に野見湾の養殖カンパチをタイに輸出する出発式が行われるところである。

以上